

■ 策定の背景と目的

JR 九州の日田彦山線は、筑豊地域や大分県日田市といった主要区間を連絡する基幹的な鉄道路線であり、通勤・通学の交通手段として利用されるとともに、地域のシンボルとしても親しまれていました。しかし、平成29年7月九州北部豪雨（以下「九州北部豪雨」という）により、添田駅以南で甚大な被害を受け、現在は添田駅から夜明駅の区間において不通となっています。九州北部豪雨以降、復旧に関する協議は県やJR、関係自治体により行われてきましたが、2020年（令和2年）7月に開催された「第6回日田彦山線復旧会議」において、関係自治体（福岡県・大分県・東峰村・添田町・日田市）とJR九州の間で、彦山駅から宝珠山駅間を専用道とするBRT（バス高速輸送システム）で復旧することが合意されました。

BRTという新しい交通システムの導入を機に、沿線地域の持続的な発展を目指していくため、福岡県と東峰村、添田町が連携して「福岡県日田彦山線沿線地域振興計画」を策定し、地域の人口確保や域外から人（観光客、移住者）を呼び込むための魅力ある地域づくり、地域が潤う産業振興施策等を進めています。

本基本構想はBRTの運行を一つの契機として村民、事業者、行政などが連携して村づくりを進めるため、東峰村内に位置するBRT駅周辺に必要な機能や役割を整理し、駅周辺の将来ビジョンを共有するとともに、将来的な整備の方向性を整理するものです。



■ 基本構想の位置づけ

本基本構想は「福岡県日田彦山線沿線地域振興計画」及び「第2次東峰村総合計画後期基本計画」を上位計画とし、村の持つ各種関連計画との整合をとりながら進めていきます。

【上位計画】「福岡県日田彦山線沿線地域振興計画（2021年2月）」
「第2次東峰村総合計画後期基本計画（2020年3月）」

東峰村 BRT 駅周辺 整備計画基本構想

【令和5年度以降の策定予定】

- ・東峰村 BRT 駅周辺整備基本計画
- ・東峰村 BRT 駅周辺整備基本設計等

- 【関連計画】
- 「東峰村復興計画（2018年3月）」
 - 「第2期東峰村まち・ひと・しごと総合戦略（2020年3月）」
 - 「東峰村 BRT 沿線景観整備計画（2022年3月）」
 - 「東峰村観光アクションプラン（2022年3月）」
 - 「東峰村地域公共交通計画（2023年3月）」等

■ 策定の流れ

本基本構想は、住民ワークショップや東峰学園の児童生徒を対象とした子どもアンケート、イベント等による来訪者アンケートなどを行い、それらをもとに駅周辺及び沿線の整備について「東峰村日田彦山線沿線地域振興協議会」の協議を経て策定されました。

現状と課題、利用意向、必要施設等について検討

村民WS（全3回）

各種アンケート調査

現地調査・資料整理

東峰村日田彦山線沿線地域振興協議会

方針の検討、基本構想の策定

パブリックコメントの実施

基本構想の策定

■ 日田彦山線沿線地域振興協議会の概要

【第1回：2022年（令和4年）9月9日（金）19：00～】

開催場所：東峰村役場宝珠山庁舎 第3会議室

内 容：①委員紹介 ②会長・副会長の選出
③BRT 駅周辺整備計画基本構想の策定について
④スケジュールについて ⑤住民ワークショップの開催について

【第1回（現地視察）：2022年（令和4年）9月27日（火）15：00～】

開催場所：筑前岩屋駅、大行司駅、宝珠山駅

内 容：現地視察、JR九州担当者より工事概要の説明

【第2回：2022年（令和4年）11月24日（木）19：00～】

開催場所：東峰村役場宝珠山庁舎 第3会議室

内 容：①第1回協議会のご意見ご質問と対応方針
②令和3年度以降の事業実施状況報告
③BRT 駅周辺整備計画基本構想について
④今後のスケジュールについて

【第3回：2023年（令和5年）1月17日（火）19：00～】

開催場所：東峰村役場宝珠山庁舎 第3会議室

内 容：①第2回協議会のご意見ご質問と対応方針
②BRT 開業に向けた事業の進捗報告
③BRT 駅周辺整備計画基本構想について
④今後のスケジュールについて

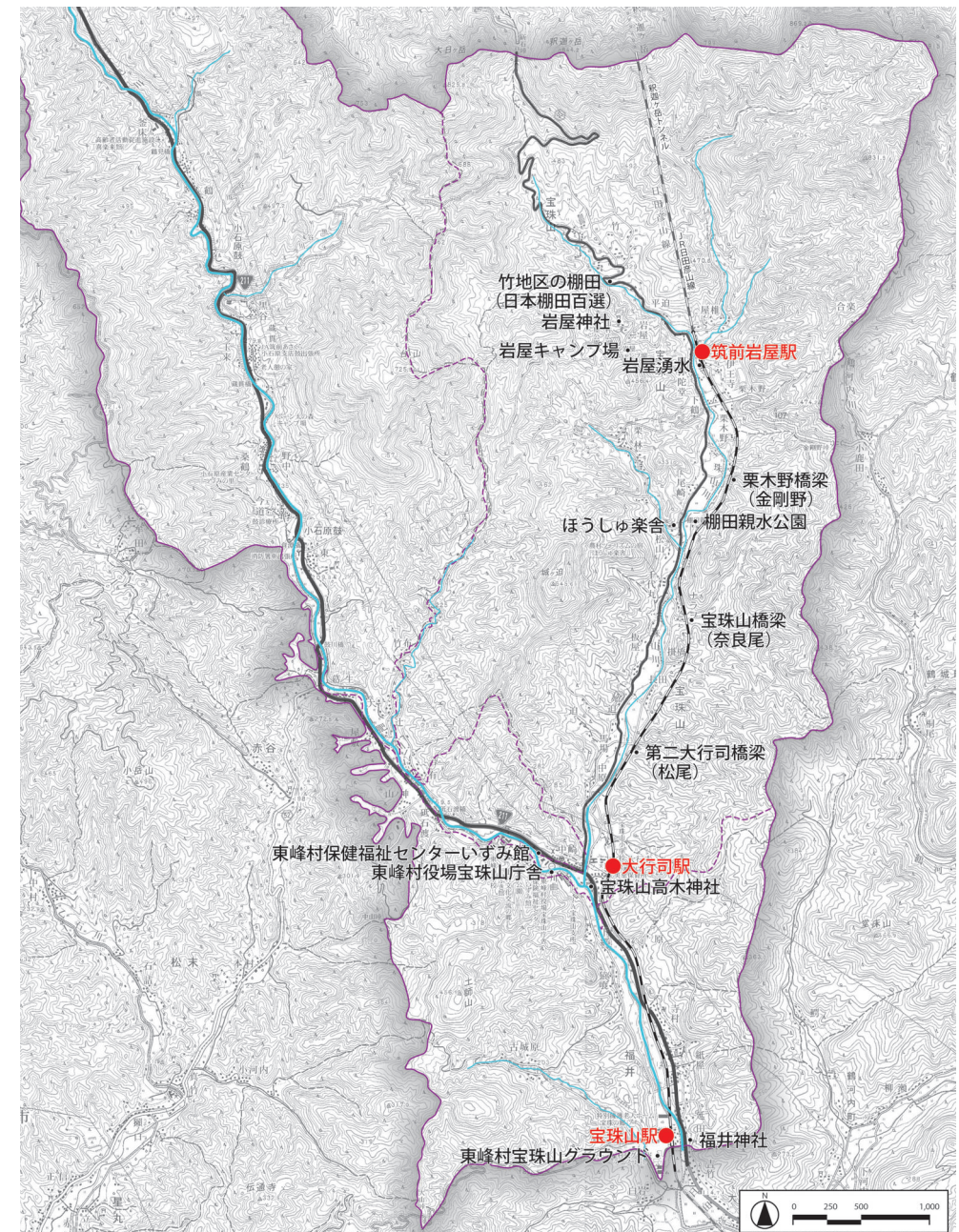
【第4回：2023年（令和5年）3月17日（金）19：00～】

開催場所：東峰村役場宝珠山庁舎 第3会議室

内 容：①第3回協議会のご意見ご質問と対応方針
②パブリックコメントの結果について
③BRT 駅周辺整備計画基本構想について
④来年度以降のスケジュールについて

■ 対象範囲

本基本構想の対象範囲は村内の BRT 駅及び日田彦山線 BRT の沿線とします。

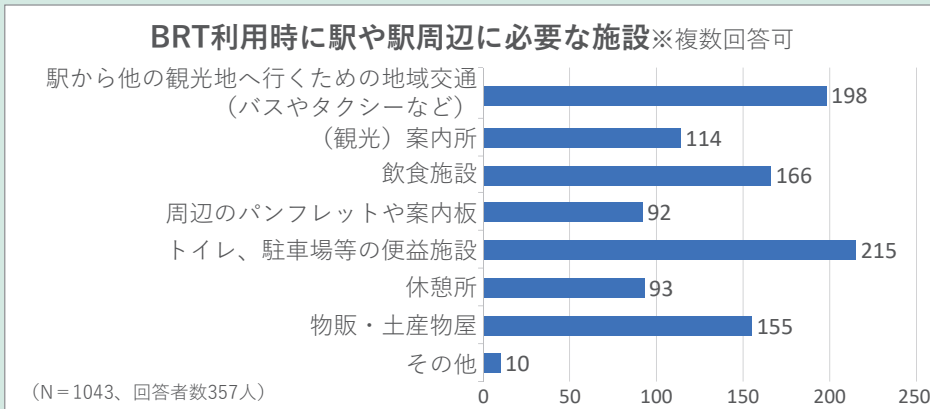
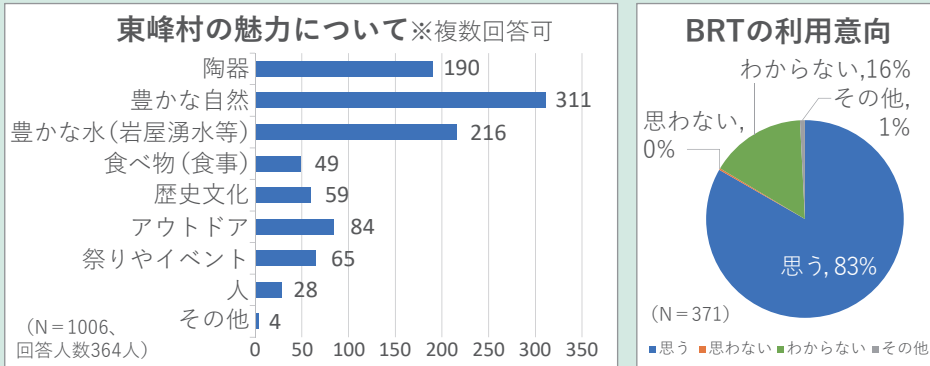


■ アンケート調査

村外からの観光需要や子どもたちの意見を反映させるため、アンケート調査を実施しました。

★JR九州ウォーキング2022秋 参加者アンケート・東峰村応援団 団員アンケート

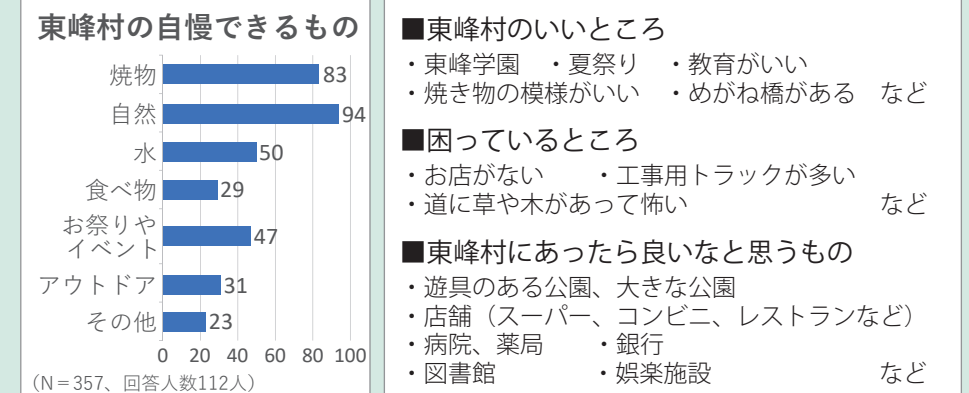
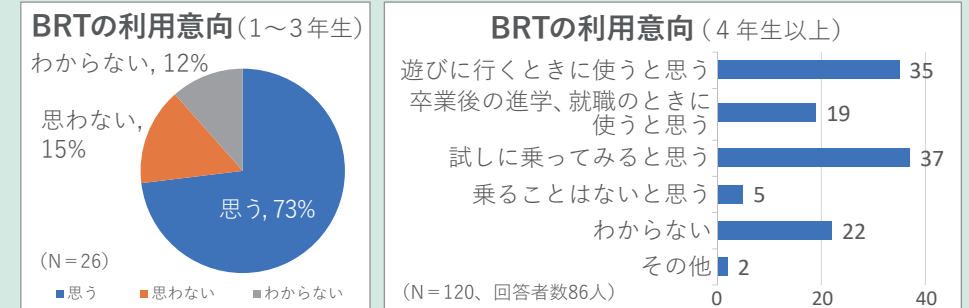
期 間：2022年（令和4年）10月28日～11月13日
 （JR九州ウォーキングのアンケートは10月30日（日）のみ実施）
 回収数：376件



JR九州ウォーキング参加者と東峰村応援団に対してアンケート調査を実施しました。東峰村の魅力については豊かな自然や水、陶器が上位となりました。またBRTの利用意向では8割を超える回答者が開通したら乗ってみたいと思うと回答しており、関心の高さが伺えます。さらに観光の視点から駅に必要な施設としては駅から移動するための交通手段や、トイレや駐車場などの施設の回答が多くなっています。

★東峰村立東峰学園 児童・生徒対象アンケート

期 間：2022年（令和4年）10月20日～10月28日
 回収数：112件



子どもたちの意見を取り入れるため、東峰学園の児童生徒を対象にアンケート調査を実施しました。利用意向については、1～3年生にはBRTが開通したら乗ってみたいか、4年生以上にはどのようなときにBRTに乗ると思うかを質問しました。どちらも乗ってみたいと思うという回答が多数であり、関心の高さが伺えます。また、子どもの目線からみた東峰村の自慢できるものについては、自然や水、焼物など、JR九州ウォーキング参加者・東峰村応援団のアンケートと近い結果となりました。また、東峰村のいいところ、困っているところ、あつたらいいと思うものを自由記述形式で回答してもらい、多くのご意見をいただきました。

筑前岩屋駅（棚田親水公園を含む）



現状と課題

筑前岩屋駅と棚田親水公園の周辺は3駅の中で一番観光資源に恵まれています。しかし、駅を中心とした周辺の観光拠点に対する案内や移動手段が不十分であり、その魅力を十分に生かすことができていないのが現状です。また、美しい景観を演出するサクラやツツジは定期的な管理が必要であり、それらが地域の負担になることが懸念されます。さらに、「竹地区棚田景観保全委員会」や「宝珠山ほたるを育てる会」など複数の団体があり、ヤマメ養殖・ワサビ栽培が行われるなど地域の活動が盛んであるため、それらをさらに活かすための取り組みや整備が求められています。



筑前岩屋駅



車体カラー (しゃくなげカラー .ver)
 <添田町の町花「しゃくなげ」>



車体カラー (やまなみカラー .ver)
 <英彦山の「やまなみ」>



車体カラー (棚田カラー .ver)
 <東峰村の「棚田」>

筑前岩屋駅（棚田親水公園を含む）



基本構想図

A. 点・面の取り組み

【A-1】 駅周辺の利便性向上

- 休憩施設の設置（夏暑い、冬寒いをふせぐ）
- 駐車場の整備（大型バスに対応したもの）
- 周辺案内サイン、文化財等の説明サイン、解説サインの整備
- トイレの整備

【A-2】 新たな観光拠点づくり

- 湧水を活用した拠点づくり
- 飲食施設等の施設設置検討
- 物販施設等の施設設置検討
- 写真撮影スポットの整備
- レンタサイクルなど周遊手段の検討
- 既存施設の更新等による活用方法の検討
- 駅周辺の観光資源（ヤマメ、ワサビ）を活用した拠点づくり

【A-3】 植栽の整備と管理

- 既存のツツジ、サクラの適切な管理と活用
- BRT 整備後の残地を活用した新たな植栽検討（JR と要協議）

B. 線の取り組み

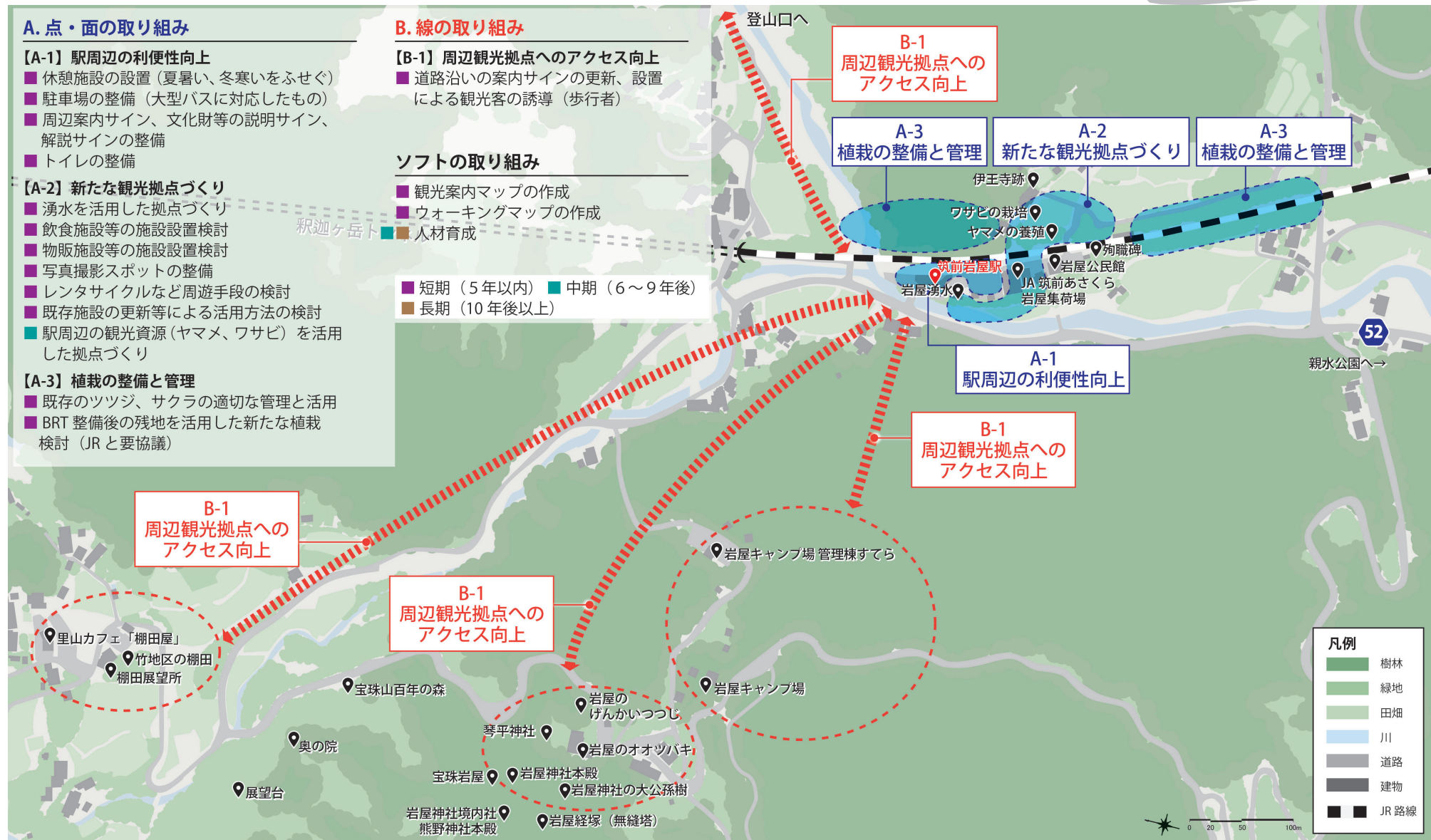
【B-1】 周辺観光拠点へのアクセス向上

- 道路沿いの案内サインの更新、設置による観光客の誘導（歩行者）

ソフトの取り組み

- 観光案内マップの作成
- ウォーキングマップの作成
- 人材育成

- 短期（5年以内）
- 中期（6～9年後）
- 長期（10年後以上）



■ 整備コンセプト「自然と水と歴史を楽しむ、東峰村の観光拠点」

筑前岩屋駅は岩屋神社や岩屋キャンプ場、岩屋湧水、棚田親水公園、竹棚田、登山口など駅周辺に観光に資する資源が多くあります。そのため、駅を拠点として東峰村の豊かな自然や水、歴史を楽しむことのできる周辺観光地への散策や、めがね橋等の写真スポットへのアクセスなどが可能となる整備を目指します。さらに「棚田まもり隊」やツツジの地元管理などの活動も活発であることから、地域との連携も併せて取り組みます。

筑前岩屋駅

A. 点・面の取り組み

【A-1】観光拠点としての賑わいづくり

- こいのぼりプールの整備
- 広場と体験交流センターの活用

【A-2】植栽と施設の管理

- 施設（更衣室、トイレなど）の更新

【A-3】ほうしゅ楽舎との連携

- ほうしゅ楽舎と連携した取り組み検討

【A-4】駐車場・駐輪場の整備

- 岩屋方面からの駐車場案内サイン設置
- 駐輪場の設置検討
- 駐車場不足への対応検討

【A-5】のり面の景観向上

- 植栽による景観整備（アジサイなど）

B. 線の取り組み

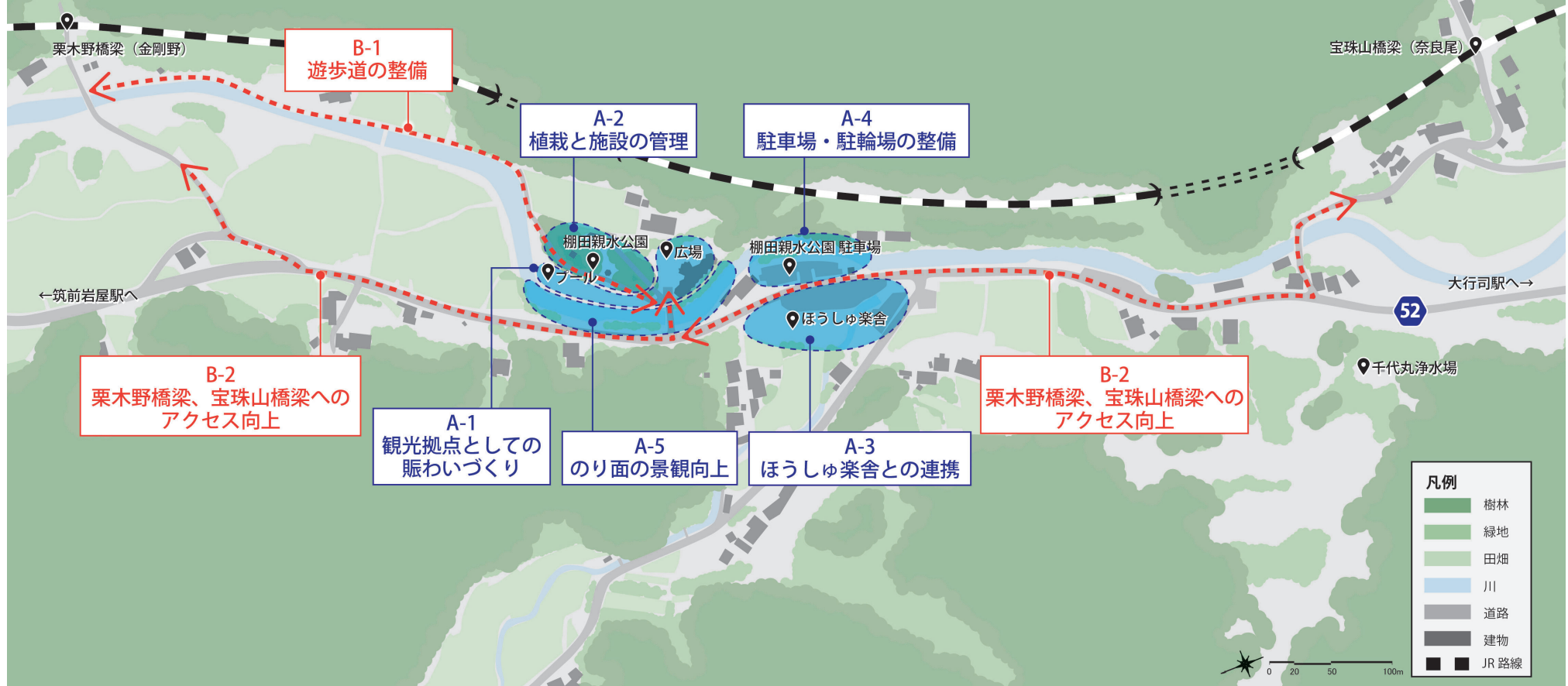
【B-1】遊歩道の整備

- 案内サインの設置による誘導
- 歩きたくなる景観づくり

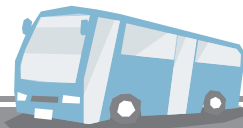
【B-2】栗木野橋梁、宝珠山橋梁へのアクセス向上

- 案内サインの設置による誘導
- 写真撮影スポットの整備

■ 短期（5年以内） ■ 中期（6～9年後） ■ 長期（10年後以上）



車体カラー（ゆずカラー.ver）
＜東峰村の特産物「ゆず」＞



車体カラー（水郷カラー.ver）
＜日田市の「水郷」＞



車体カラー（あやめカラー.ver）
＜日田市の花「あやめ」＞

大行司駅

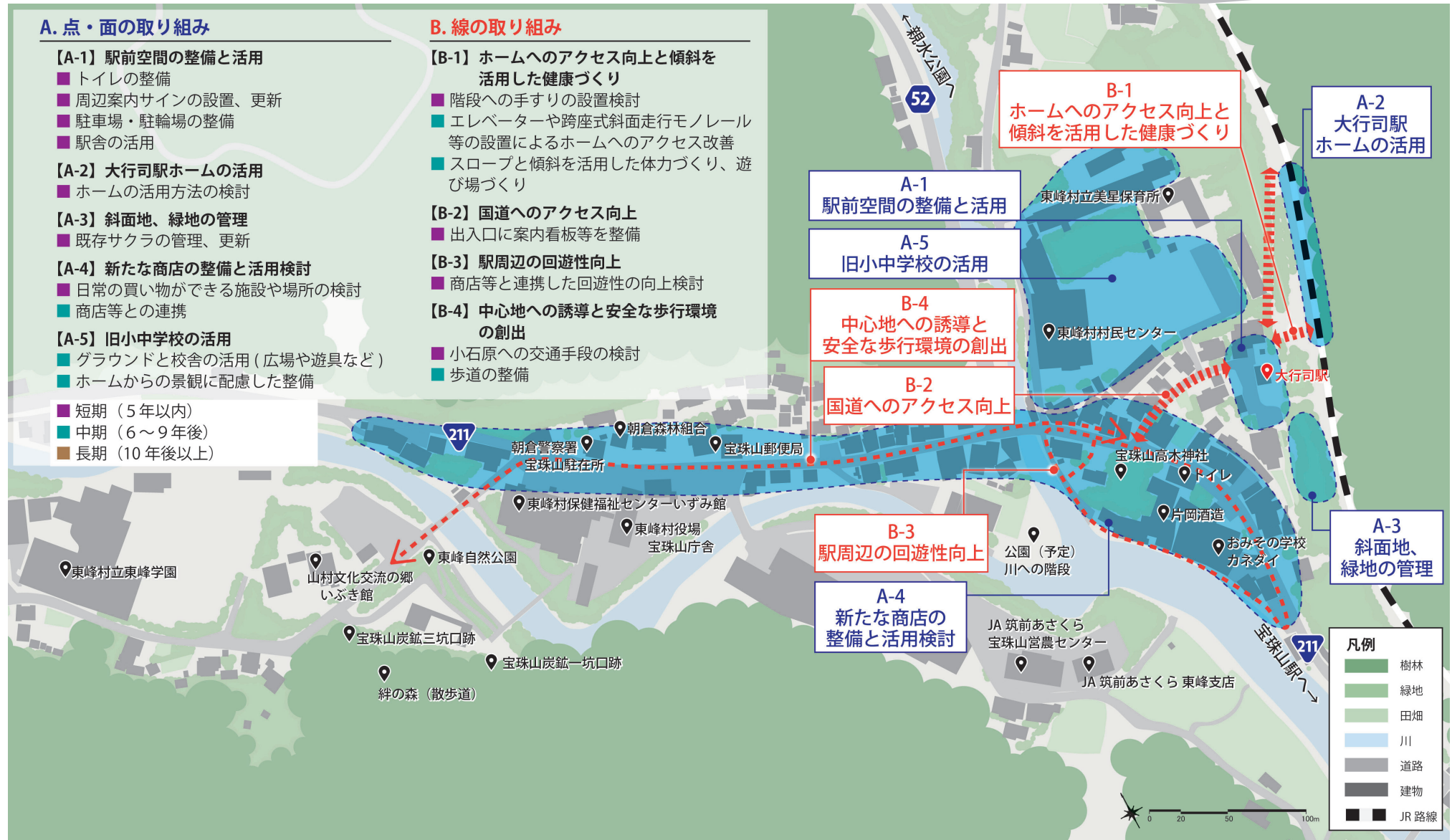


現状と課題

大行司駅は3駅の中で最も村の中心部に近い駅です。九州北部豪雨以前は飲食店があったこともあり、地域の人が集まる賑わい拠点としての役割も果たしていましたが、現在は再整備された駅舎も活用されないままとなっています。また、トイレの整備がされていないこと、ホーム（乗り場）への高低差が大きく高齢者や体の不自由な方にとっては不便であることも公共交通としては大きな課題であるため、早急な対応が必要です。一方で、高低差があるという事は、眺望や景観の面では魅力であり、それを活かすための取り組みも検討する必要があります。

さらに、観光等での来訪者に向けては、周辺の旧宝珠山小学校グラウンドや既存商店街との連携を図るため、案内板等の設置を行う必要があります。





■ 整備コンセプト 「誰もが便利で使いやすい 東峰村の交通拠点」

大行司駅は東峰村の中心地に最も近い駅で、周辺には商店や住宅があり、日常的に BRT を使う上での利便性が高い駅となっています。また駅舎とホームの高低差があることが課題となる一方で、眺望景観や健康づくりなどそれが魅力につながる部分もあります。そのため、地域の人の日常使用を中心に、東峰村の交通拠点としての利便向上を目指していきます。

宝珠山駅



現状と課題

宝珠山駅には以前は遊具が設置されていましたが、現在は工事に伴い撤去されており、既存のゲートボール場も現在では利用者が少なくなっています。さらに木工塾の南側は竹林や雑草により活用が難しい状況になっていることから、駅を整備する上では、利用者のニーズを把握したうえで、一体的な整備と利活用の検討が求められています。

宝珠山駅は3駅の中で最も敷地が広く、さらに宝珠山グラウンドとも近接していることから、周辺整備により、さらなる活用が期待されます。県境の駅としてのPR、BRT専用道への入口としての表情づくりなどと合わせて検討を行う必要があります。



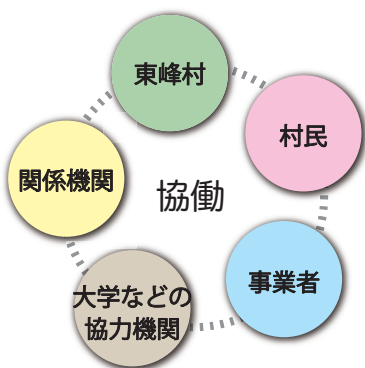


■ 整備コンセプト 「誰でも楽しい！ 県境の駅」

宝珠山駅は広い敷地や近接する宝珠山グラウンドとの連携により賑わい拠点としての可能性を持っています。また、BRT 専用道への出入口であるということや県境の駅であるということ、桜並木や大行司駅へと向かう中での美しい農の景観など、周辺ではなく BRT と駅そのもので楽しむことができる要素が多くあります。そのため、美しい景観を維持しつつ、子どもから大人まで誰もが楽しむことのできる駅を目指します。

■ 協働の取り組み

基本構想の実現には、村民、事業者、行政等の連携と協働により取り組むことが重要です。村においては関連計画との調整、村民が活動に協力しやすい環境づくり等に努めるとともに、村内の事業者や関係機関、協力機関等との連携を図りながら計画を推進していきます。また、本基本構想に基づく整備は、日田彦山線 BRT 開業後も継続して実施していくものであることから、適切な情報公開に努め、必要な協力体制の構築を図ります。



■ スケジュール

本基本構想に基づく整備スケジュールは以下の通りです。ただし他の計画との連携等により変更になる可能性があります。

	2022年度 (R4年度)	2023年度 (R5年度)	2024年度 (R6年度)	2025年度 (R7年度)	2026年度 (R8年度)以降
基本構想	■				
基本計画		■			
実施計画・実施設計			■	■	
整備		■	■	■	■
ソフトの取り組み		■	■	■	■

■ ワークショップ（日田彦山線BRT駅周辺整備計画基本構想 意見交換会）

第1回

日時

2022年（令和4年）
9月27日（火）19：00～

場所

東峰村保健福祉センター
いずみ館多目的ホール

プログラム

1. BRT 駅周辺整備基本構想とは
2. ワーク「駅周辺の魅力と課題を考えよう」
3. 発表




第2回

日時



2022年（令和4年）
11月29日（火）19：00～

場所

東峰村保健福祉センター
いずみ館多目的ホール

プログラム

1. 情報提供（アンケート調査報告、事例紹介）
2. ワーク①あったらいいなこんなもの
②整備の優先度をつけてみよう
③駅ごとの整備コンセプトを考えよう
3. 発表

第3回

日時



2023年（令和5年）
2月7日（火）19：00～

場所

東峰村保健福祉センター
いずみ館多目的ホール

プログラム

1. 整備基本構想（案）について
2. ワーク「基本構想を確認しよう」
3. 発表
4. 今後のスケジュール

来年度からは具体的な整備についての検討に入っていきます。検討の内容につきましては広報等を通じて皆さんにお知らせしていく予定です。今後も何かとご協力をいただく場面が多くあると思いますが、ご支援のほどよろしくお願いいたします。

お問い合わせ先

東峰村役場 ふるさと推進課 TEL:0946-72-2312、FAX:0946-28-7723

